

事務事業評価における総括

部 局 名	財務部	記入責任者	青柳 道文
評価について（現状と課題）			
<p>【事業の達成状況について（現状）】</p> <p>財務部の政策的事業は、7事業のうちS評価6件、A評価1件としていることから、おおむね順調に進捗しています。財務部という部局の性質上、政策的事業の数は必ずしも多くはないものの、今後におきましても、部局内の大半を占める定例的な事業を迅速かつ的確に進めるとともに、政策的事業についてもしっかりと取り組みを進めてまいります。</p> <p>【達成できた（できなかった）要因についての分析（課題）】</p> <p>「寄附の採納事務」については、本市に対するふるさと納税を促進するために、ふるさとチョイス等のサイトを活用するとともに、魅力ある返礼品ラインナップ構築に取り組んだことで寄附金の確保につなげたためS評価としました。</p> <p>「納税推進センター事業」については、委託事業者を活用した初期滞納者への電話での呼びかけにより現年度滞納の早期解消が図られ、それに伴い現年度の市税徴収率が向上したためS評価としました。</p> <p>「全庁的な徴収率向上への取組」については、4月・9月に収納課と債権管理各課徴収担当との初任者研修や生活支援課徴収担当職員を対象に滞納整理の出前講座を実施し、庁内連携が一層強化されたためS評価としました。</p> <p>「クレジットカード収納の導入」については、令和2年1月の導入に向けて各事業者の企画提案書の比較、検討及び費用対効果の検証を行ったためS評価としました。</p> <p>「その他市税還付金及び還付加算金の事務」については、目標値である0件には及ばなかったためA評価としましたが、一定の成果はあったものと考えています。</p>			
今後の方向性			
<p>【政策・施策目標の達成に向けた今後の方向性について】</p> <p>財務部の業務計画に位置づけた事業については順調に進捗しており、今後も継続して業務を進めてまいります。</p> <p>財務部の使命として、安定的な財政運営を維持するため、市税の適正な賦課及び徴収率の維持向上に努めるとともに、自主財源確保に対する取り組みとして、ふるさと納税制度の活性化をはじめとした、さまざまな対策を積極的に検討してまいります。</p> <p>働き方の見直しによる時間外勤務時間の削減についても引き続き取り組みを進めます。具体的には、各課の職員間での作業の分散による効率的な業務体制の推進、事務処理手順を分業することによる作業の協力体制の推進、業務工程の省略化の検討などを行いつつ、ワークライフバランスの向上にも努めてまいります。</p>			